

図・書・紹・介

◆当センター「図書コーナー」にある本を紹介しています。

【貸し出しのお約束】

◆一人5冊まで ◆期限：2週間

D入荷D
DVD紹介



『告白』
湊かなえ
双葉社
1,470円(税込)

「愛美は事故で死んだわけではありません。このクラスの生徒に殺されたのです。」我が子を校内で亡くした女教師が淡々と迫る。第29回小説推理新人賞受賞。



『1Q84 Book 3』
村上春樹
新潮社
1,995円(税込)

1、2巻合わせて発行部数200万部を突破している。大ヒット小説『1Q84』第3巻。空前の話題を呼んでやまない物語は、更に深い森の中へ。



『表札など 石垣りん詩集』
石垣りん
童話屋
2,100円(税込)

「自分の住む所には、自分の手で表札をかけるに限る。精神の在り場所もハタから表札をかけるれてはならない。石垣りん、それでよい。」石垣りんの名詩集。



『かもめ食堂』
(102分)

高い青空とゆったり歩く人々。凜とした主人公サチエを慕うちょっと変わった人たちの物語。

貸・室・案・内

使用料

●男女共同参画社会の推進に寄与する団体については、使用料が半額になる場合があります。詳しくはお問い合わせ下さい。

| 区分 | 使用料 | | | |
|------------------|------------------|-------------------|-------------------|------------------|
| | 午前 9:00~12:00 | 午後 13:00~17:00 | 夜間 18:00~21:00 | 一日 9:00~21:00 |
| 大研修室 (定員120人) | 3,500円 | 3,500円 | 3,500円 | 10,500円 |
| 中研修室 (定員60人) | 1,600円 | 1,600円 | 1,600円 | 4,800円 |
| 小研修室 (定員14人) | 800円 | 800円 | 800円 | 2,400円 |
| 和室 (8畳) | 700円 | 700円 | 700円 | 2,100円 |



●大研修室●



●小研修室●



●中研修室●



●和室●

予約方法

●電話で仮予約をお願いいたします。その後、書面により正式に申請していただきます。

電話 027-224-2211

交・通・案・内



●お車でのお越しの際の駐車については、県庁内「県民駐車場」をご利用ください。

●開館時間：・火～金 9時～21時

・土、日、祝 9時～17時

●休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)
12月29日～1月3日

●所在地
〒371-0026
群馬県前橋市大手町1-13-12
電話 027-224-2211 Fax 027-224-2214
メール：sankakuse@pref.gunma.jp
http://www.pref.gunma.jp/index.html



女性相談センター

ひとりで悩まずご相談ください

◆群馬県女性相談センター
(配偶者暴力相談支援センター)
電話 (027) 224-4480
・月～金 9:00～20:00
・土・日・祝 13:00～17:00

DV法律電話相談

(事前に電話相談が必要です)

・水 13:00～14:30

所在地：ぐんま男女共同参画センター内
内容：相談(面接を希望される場合は事前にお電話ください)
支援(一時保護先の紹介をおこなってます)

群馬県ぐんま男女共同参画センター通信 No.7

【発行】群馬県ぐんま男女共同参画センター
【発行日】平成22年5月21日

・次号のセンター通信は平成22年7月発行予定です。

●センター通信について、複数の送付を希望する団体があれば、希望部数をご連絡下さい。

センター通信No.7

とらいあんぐるん

●●ぐんま男女共同参画センター●●

手形・足形づくり教室で

子育てを楽しみました!

4月25日(日)、当センターで「紙粘土の手形・足形づくり教室」を開催しました。この催しは、とくく母親の役割と思われがちな子育てに、家族で参加してもらい、紙粘土による手形・足形づくりを通して子育ての楽しさを実感していただき、父親の育児参加のきっかけづくりになれば、という意図で企画したものです。主に玉村町で活動を展開する、子育て支援ボランティアグループ「和い輪いネットワーク」と、当センターとの共催で実施しました。

講師を務めたのは「和い輪いネットワーク」代表の高橋さゆりさん。同ネットワークは以前から同様の催しを実施しており、慣れた様子の高橋さんは、冒頭の説明の際「今日はお父さんがたくさん来てくれて嬉しい」「子育ては、ママだけじゃなく、パパも、そして、周りの大人がみんなできていくことが大事」と、周囲の人が協力し合って子どもを育てることの大切さを訴えました。

当日は22組82人が参加し、うち、父親が参加した家族は17組で、子どもの最年少は0歳2カ月。実際の作業では、親が子どもの手や足を紙粘土に付けて型を取ろうとしても、子どもの年齢が低ければ低いほど、嫌がったり、泣き出したり…。子どもをあやすのに懸命なパパやママの姿があちこちで見られました。

また、粘土をこねるのについ力が入って体に汗がにじんでしまうという、当初のイメージとは異なる意外な面もありましたが、創意工夫の甲斐あって最終的にはどの家族も完成した手形や足形の出来栄に満足した様子。「パパ、どうですか?」との講師からの問いに「楽しいですね」「子どもより自分が楽しんでしまいました」などの感想が聞かれ、笑顔いっぱいのイベントとなりました。



予告

東京家政大学との共催 平成22年度 『男女共同参画基礎講座』(参加費無料)

日時・講師：①9/11(土) 関根晴光 ②9/18(土) 金城清子 ③9/25(土) 杉浦浩美
④9/27(月) 落合恵子 ⑤10/2(土) 青木幸子 ⑥10/9(土) 樋口恵子

午後1時30分～3時15分

会場：ぐんま男女共同参画センター

対象：6回連続で参加できる人 定員：60人(先着順)

申し込み方法：電話・FAX・メール(住所、氏名、電話番号をお知らせください)

電話 027-224-2211 Fax 027-224-2214 メール：sankakuse@pref.gunma.jp



落合恵子さん



樋口恵子さん

7/4(日)より
申し込み受付

県職員ルーキーに男女共同参画を専門家がレクチャー

—群馬県新規採用職員研修—



大宮登講師

桜の花がほぼ満開となった4月6日、自治研修センター（前橋市大渡町）において、今年度から新たに県職員となった111人に、男女共同参画の重要性が60分に渡って訴えられました。

これは、例年行われている県新規採用職員研修の一環で、県庁のルーキーたちは、県の財政状況、環境行政、県税、防災対策、バリアフリー施策など数多くの分野の講義を受ける中、男女共同参画についても学びました。

ほとんどの講義の講師は県職員が務める同研修。男女共同参画についても昨年度まではそうでしたが、今年度は、よりわかりやすく、受講生の理解度がさらに高まることを狙い、ぐんま男女共同参画センターと自治研修センターとの共同実施により、男女共同参画に造詣の深い高崎経済大学の宮登副学長を講師とした講義が実現しました。

県の男女共同参画推進委員でもある大宮副学長

の講義はとてわかりやすく、開口一番「男女共同参画の認識を深く持つことは、これから皆さんが公務員として仕事をしていくうえで、どこの所属に異動になってもどうしても必要」と力説。「男女共同参画の状況を国際的に見た場合、先進国の中で日本は非常に遅れている」、「県の男女共同参画については、その担当課が取り組めばいいのだろう、自分が配属された部署は関係ない、ではすまされない」と話す一方で、「仕事一辺倒ではダメ。趣味、家族、地域。これらのバランスが取れて、初めていい仕事ができるはず」とワークライフバランスの大切さについても言及。「どんな仕事を担当しようと、県職員となった以上、どうすれば県民がよりよい生活ができるかを考えてほしい。それが豊かな群馬県づくりにつながるはず」という言葉に、フレッシュマン、フレッシュウーマンたちは真剣な表情でうなずいていました。



ぐんま男女共同参画センターのご案内

お車でお越しの際の道順（およそ徒歩4分）をご案内いたします。当センターは駐車場がありませんので県庁の県民駐車を御覧ください。



看板を設置しました

1 県民駐車場は立体駐車場です。駐車券を忘れずに携帯してください。



（県庁内受付に当センター案内図が置いてありますのでご利用ください）



2 議会庁舎へつづく横断歩道を渡ります。



ぐんま男女共同参画センター
とらいあんぐるん



4 横断歩道をご利用ください



3 案内板を参考に県庁西側へお進みください。

県民意識調査

1

GUNMA

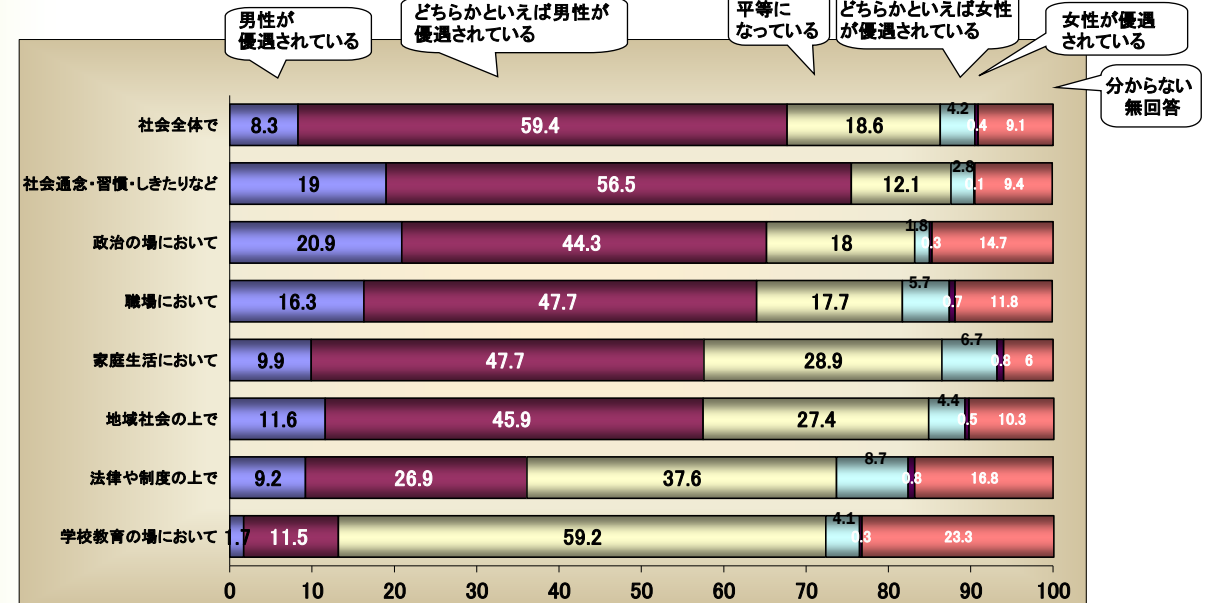
多くの分野で『男性が優遇されている』と感じている・・・

県民意識調査 ■平成21年12月、群馬県では男女共同参画社会についてのアンケート調査を行い、20歳以上の男女1,079人の方から回答をいただきました。主な結果についてシリーズで紹介いたします。

■男女平等感について

「学校教育の場」と「法律や制度の上で」は『平等になっている』と思う割合が高く、「地域社会の上で」、「家庭生活」、「職場」、「政治の場」、「社会通念・習慣・しきたりなど」、「社会全体で」の6分野では『男性が優遇されている』と思う割合が高くなっています。

なお、『女性が優遇されている』と思う割合はすべての分野で1割未満となっています。



講演会のお知らせ

夢みる女性誌 『女学』から『それいゆ』へ

講師◆佐藤 浩美（県立土屋文明記念文学館 学芸係）

内容①明治・大正・昭和における女性誌の変遷
②女性の生き方（文人たちのヒロインとなった群馬県の女性猪谷千代を中心に）

日時◆平成22年6月13日(日)
14:15～15:45

参加費◆無料
申し込み先◆ぐんま女性会議（代表 野上佳世子）
事務局 TEL/FAX:0270-64-2814 高橋
※当センターでも受け付けております
主催：ぐんま女性会議・ぐんま男女共同参画センター

男だって、日傘がほしい!

～「枠組み」を見つめ直してみよう～
講師◆奥山 和弘（静岡県立掛川西高副校長）
日時◆平成22年7月11日(日)
13:30～16:30
参加費◆500円(資料代込み・当日お支払いください)
主催：NPO法人ひこばえ・前橋市男女共同参画室
ぐんま男女共同参画センター

参加者募集!



「デートDV」って!なに?

～子どもを暴力から守る～
講師◆山口 のり子（アウェア代表）
日時◆平成22年8月11日(水)
13:30～16:30
参加費◆500円(資料代込み・当日お支払いください)
主催：NPO法人ひこばえ
ぐんま男女共同参画センター



共通事項

会場◆ぐんま男女共同参画センター
定員◆80人（先着順）
申し込み方法◆電話、FAXまたはメール（住所、氏名、電話番号をお知らせください）

申し込み・問い合わせ先 ぐんま男女共同参画センター 〒371-0026 前橋市大手町1-13-12
TEL:027-224-2211 FAX:027-224-2214 メール:sankakuse@pref.gunma.jp